

# アジア・アフリカ図書館だより

## 第4号

平成30年8月

### リニューアルオープン5年目を迎えて

— 過去5年を振り返る —

アジア・アフリカ図書館は、アジア文化図書館として1957年に設立され、60年の時を経て現在に至っています。中国の文人郭沫若氏の寄贈本からなる郭沫若文庫を始めとして、当図書館はアジア・アフリカ関係の和書、アラビア語、ヒンディー語、中国語、韓国語などの原書、英語図書など約2万点からなる蔵書を所有しており、辞書類のコレクションも目を見張るも



現在のAA図書館  
(写真は財団本部社屋。図書館は同社屋2階)

のがあります。2012年8月、当図書館の運営母体である公益財団法人アジア・アフリカ文化財団と三鷹市及び三鷹市教育委員



開館時のAA図書館

会との間で三鷹市立南部図書館の開設と図書館活動を通じた協働等に関する「パートナーシップ協定」が締結されました。これに伴い、当図書館を含む財団施設の建て替えが行われ、2013年11月に南部図書館の開館とともに当図書館もリニューアルオープンいたしました。

アジア・アフリカの専門図書館という特殊性にもかかわらず、オープン当初からの利用者は、2018年3月時点で4,774人にもなっています。今後も長く皆様に親しんでいただき、アジア・アフリカ世界のより良い理解を進める図書館でありたいと願うとともに、私たちがより深い知識を得るべく精進してまいりたいと思います。

### 図書館長あいさつ

アジア・アフリカ図書館は、「郭沫若文庫」の創設を機に1957年に設立して61年目を迎えました。今では文庫の図書や諸資料を当館のみならず三鷹市立南部図書館に展示して市民に公開し、また、両館共催の事業「みんなみフェスタ」や当館主催の「アジア・アフリカを知る集い」を行って利用の普及を図っています。昨年度もこれらの行事には、多くの市民や支援者が参加して好評を得ました。

当館では、所蔵の図書や文化資源が多くの方々に利

アジア・アフリカ図書館長 小倉 正雄

用され生かされてこそ存立の意義があると考えています。昨年度に続いて今年度も特別展示を行います。テーマは『インドネシアのワヤン—アジアの影絵芝居の世界』で、年間の諸行事を関連させてさらに充実を図ってまいります。

これらを通してより多くの方々がアジア・アフリカ図書館を利用され、今日のアジア・アフリカ世界に親しむ手掛かりにさせていただければ幸いです。





2014年度～2017年度

## リニューアルオープン後の 主な活動



特別展示より (左: 2017年度、右: 2015年度)

### ●文化講座「アジア・アフリカを知る集い」の開催

アジア・アフリカ世界を知っていただく機会として「アジア・アフリカを知る集い」と題して2006年より毎年文化講座を開催しています。リニューアルオープン以降の開催実績は以下の通りです。

〈2014年度〉第23回

講座題目: 『信仰によって発展する現代社会: インドネシアとムスリム地域社会』

講演者: 阿久津正幸

(あくつ・まさゆき 東洋大学国際学部非常勤講師)

開催日: 2014年10月18日

〈2015年度〉第24回

講座題目: 『アラビアンナイトを生んだアラビア語の世界』

講演者: 師岡・カリマ・エルサムニー

(もろおか・カリマ・エルサムニー アナウンサー、著述家)

開催日: 2016年1月31日

〈2016年度〉第25回

講座題目: 『ガンディーと日本』

講演者: 内藤雅雄

(ないとう・まさお 東京外国語大学名誉教授、インド史学者)

開催日: 2017年3月26日

〈2017年度〉第26回

講座題目: 『“道”から見たアジア・アフリカ世界—経済・文化のネットワークの観点から』

講演者: 宮崎正勝

(みやざき・まさかつ 元北海道教育大学教授、著述家)

開催日: 2018年1月28日

### ●三鷹市立図書館との協働事業

「三鷹市立南部図書館みんなみ」と様々な協働事業に取り組んでいます。

▶南部図書館内に設けられた展示コーナーで行う郭沫若関連の企画展示に対して、郭沫若文庫の所蔵品を無償で貸し出し(リニューアルオープン以降継続実施)。

▶南部図書館の開館記念日(11月23日)行事「みんなみフェスタ」における講演会等の開催協力。

〈2014年度〉

ドキュメンタリー映画『チベット天空の英雄ケサル大王』の上映と講演会を開催

講演者: 大谷寿一

(おおたに・としかず 上記映画の監督)

〈2015年度〉

講演会『イスラームの飛躍とアラビアンナイト』

講演者: 宮崎正勝

(みやざき・まさかつ 元北海道教育大学教授、著述家)

〈2016年度〉

講演会『知ってびっくり、こんな秘密が!—韓国人の名づけのルールとは—』

講演者: 兼若免之

(かねわか・としゆき 元東京女子大学教授、NHK ハングル語講座講師)

〈2017年度〉

講演会『インターネットが変える中国社会

～伝わらないその変貌ぶり～』

講演者: 高井潔司

(たかい・きよし 北海道大学名誉教授、桜美林大学リベラルアーツ学群教授)



### ●企画展の開催や後援、その他の活動

館内においてアジア・アフリカに関する特別展示を毎年企画、開催しています。展示内容に合わせて当図書館所蔵の図書の紹介も行っています。

また、個人・団体が行う企画展の後援も随時行っています。

#### ▶当図書館の特別展示

〈2014年度〉

展示会名: 『アジア・アフリカの文字』

展示内容: モリサワ社の協力を得てアジア・アフリカ諸国の文字を写真で紹介した。

〈2015年度〉

展示会名: 『アラビアンナイトの世界』

展示内容: 当館所蔵のアラビアンナイト蔵書コレクションを元に、アラビアンナイトが生まれた背景や西洋での発展を解説した。

開催期間: 平成27年6月から平成28年1月まで

〈2016年度〉

展示会名: 『“詩”から見たアジア・アフリカ世界』

展示内容: 中国、インド、アラブで発展した“詩”を取り上げた。

開催期間: 平成28年9月から平成29年4月まで

〈2017年度〉

展示会名: 『“道”から見たアジア・アフリカ世界』

展示内容: 陸と海のシルクロードを舞台にした東西の文化交流や交易の概要を紹介した。

開催期間: 平成29年8月から平成30年4月まで

#### ▶個人や団体による企画展の後援

〈2014年度〉

専門学校アジア・アフリカ語学院卒業生の陳芳怡(チェンファンイー)さんの絵本原画展



〈2015年度〉

中江利忠さん(財団理事、元朝日新聞社社長)の写真展「カメラが捉えたアジア・アフリカ etc.—戦後70年を回顧して—」



〈2016年度〉

ソウル韓国語学院ポジャギの会主催の作品展示会「ポジャギ・韓国文化展」

#### ▶古書のリサイクル市

2018

年度

活動予定

## 三鷹市立図書館×アジア・アフリカ図書館協働事業

### 『みんなみフェスタ』(三鷹市南部図書館開館記念日行事)

#### 公演

例年同様、11月23日(金・祝)に開館記念日行事『みんなみフェスタ』が開催されます。

今年度はインドネシアの影絵劇ワヤンの公演を予定しています。

## アジア・アフリカ図書館の企画展や文化講座など

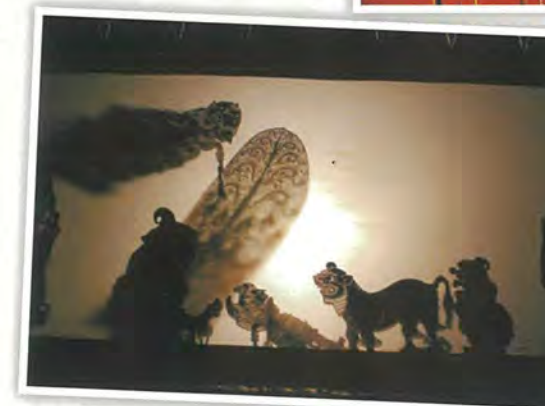
### 『インドネシアのワヤン—アジアの影絵芝居の世界』

#### 特別展示

今年度は、「みんなみフェスタ」で行われるワヤンの実演に合わせて、10月から下記のような内容で展示を行う予定です。



世界各地に影絵が存在しますが、特にアジアからトルコにかけての地域には大変興味深い影絵文化があります。上演時に使う人形にも芸術性を見出すことができますし、演者の技術も優れています。特に東南アジアの影絵は自然の中で神の降臨を見、神と一体化する原体験をすることができます。現地の人たちにしてみれば、影絵は大変神聖なものであるとされています。そのストーリーは、インドの神話である「マハーバーラタ」と「ラーマーヤナ」から取ったものが多いようです。今回はアジア影絵の代表格であるインドネシアのワヤンを中心にアジアの影絵芝居を紹介する予定です。



### 文化講座「アジア・アフリカを知る集い」の開催

2019年1月に開催予定。講演内容は未定。決まりましたら別途ご案内いたします。

### 企画展の開催や後援、その他の活動

#### 写真展の後援

当図書館館長小倉正雄の写真展をエントランスホールにて開催予定。

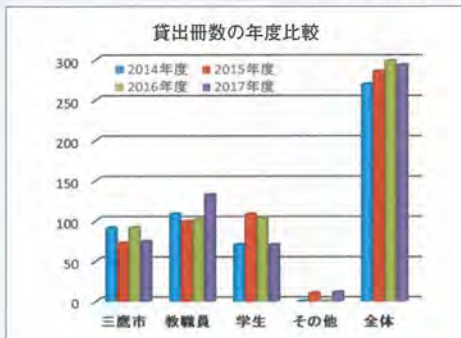


▶ 研究者の来館

2017年2月に郭沫若文化研究会の郭京会カクキョウカイさんが、また、同年5月には甲骨文字研究家の崎川隆（中国吉林大学）先生が、7月には、三鷹ネットワーク大学と次世代まち作り人材養成塾の方々10名と三鷹市関係者数名が来館され、郭沫若文庫を中心に見学や調査が行われました。

2014年度-2017年度の図書館利用状況の推移

アジア・アフリカ図書館利用者は、年々増えています。



一年の貸出冊数は、250～300冊です。

▶ 「アジア・アフリカを知る集い」

本年1月28日に開催した第26回においては「“道”から見たアジア・アフリカ世界—経済・文化のネットワークの観点から」と題して、北海道教育大学元教授で現在は著述家としてご活躍中の宮崎正勝先生が講演されました。ローマ帝国やシルクロード、イスラム商人の活躍した時代をわかりやすくお話しなされ、世界史の舞台の上での“道”の果たした役割が大変興味深いものとわかりました。市民も含め多くの方の参加があり盛会でした。



講演する宮崎先生

編集後記

リニューアルオープンから5年目を迎え、手探りで進めてきた一般市民への公開や三鷹市立図書館との協働作業も、ようやくある程度の形が見えて来たように思います。また、今年2月には、JCOM社のネットニュースに取り上げていただくなど、アジア・アフリカ図書館の存在や意図が一般の皆様にも少しずつ認知されだしているように感じています。『図書館だより』の果たす役割も、一層重要になるものと考えて、さらなる充実に努力してまいります。

菊地弘 アジア・アフリカ文化財団会長、逝去のお知らせ

アジア・アフリカ図書館の運営母体である公益財団法人アジア・アフリカ文化財団で長く会長をお務めだった菊地弘先生が平成29（2017）年9月9日、病気のためお亡くなりになりました。満89歳でした。菊地先生は成蹊大学卒業後共同通信社に入社し、在職中にエジプトのカイロ大学に留学、ソウルとペイルート支局長を務めるなどしたのちに、1987年アジア・アフリカ文化財団専務として当財団に入られました。在勤中は語学院長、理事長を歴任し、2012年に財団会長に就任。財団の運営に多大な貢献をされました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

公益財団法人 アジア・アフリカ文化財団経営 アジア・アフリカ図書館

開館日：火、水、金、土、日（第3水曜、年末年始を除く） 開館時間：平日＝12時～17時、土・日：9時半～17時  
〒181-0004 東京都三鷹市新川5-14-16 Tel：0422-44-4640 Fax：0422-46-5107